

2022 年度第 10 回価格審査会の開催について

2022 年度第 10 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2023 年 1 月 12 日(木)～16 日(月)
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした。
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 竹本 康之 東日本建設業保証株式会社 業務部 業務サービス課長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：今井 豊 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2022 年度第 9 回価格審査会議事録(案) 確認

2022 年度第 10 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（福井市）、レディーミクストコンクリート（帯広市ほか 36 都市）、道路用砕石類（弘前市ほか 8 都市）、再生砕石類（弘前市ほか 5 都市）、アスファルト混合物（大船渡市ほか 14 都市）、耐震管路用ダクタイル鋳鉄管（全国）、建築用コンクリートブロック（那覇市）、硬質ポリ塩化ビニル管（北海道地区ほか 9 地区）、鉄スクラップ（札幌市ほか 57 都市）、非鉄スクラップ・アルミ（新潟市ほか 1 都市）ほか・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（福岡市ほか 6 都市）、非鉄スクラップ・銅（札幌市ほか 7 都市） <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	北海道地区木材で「木材需要減少による販売店間の受注競争が激化して下落」とのコメントがあった。この場合の需要減少の要因は、降雪地域である北海道の冬季事情によるものと推察すると、このような下落動向は毎年発生する傾向と認識してよいか。降雪がなくなる初春以降はこの傾向は解消される性質のものか。	北海道特有の冬季事情によるものではなく、他地区と同様に住宅需要減少によるものである。なお、春以降の需要回復については不透明である。
質問 2	レディーミクストコンクリートの高岡地区で値上げ額の満額浸透による上伸が達成された上に、協組のさらなる価格上積みに対して「先行き、強含みの公算が大きい」としている理由は何か。	2022年7月の値上げ分は満額浸透となったが、セメント再値上げ等の影響を受け、2022年10月に1,500円/m ³ 、2023年4月に1,000円/m ³ の値上げを打ち出し、更なる販売価格の上積みを目指す構えであることから、先行き強含みとしている。
質問 3	上伸帯数が1月号と比べ大幅に減少しているが、高値で頭打ちの状況なのか、それとも円高の影響が大きいのか。	鋼材や樹脂などの価格が落ち着いたことで、これらを原材料とする各種製品の値上げの動きが落ち着いてきたことが要因である。直近の円高の影響は限定的である。
質問 4	レディーミクストコンクリートで「出荷ベースへの契約方式の見直しなどを表明」とある。出荷ベースへの転換はなかなか難しいとみているが浸透していくのか。また協組の要求は強気なのか。	出荷ベース契約方式への見直しを表明している各地区の協組は、浸透に向け強気な交渉を継続している。しかし現状においては出荷ベースへの転換交渉は難航している模様であり、今後の浸透については不透明である。
質問 5	異形棒鋼・ねじ鉄筋の九州地区の価格が受注競争激化を理由に下落となっているが、九州地区全体で鉄筋の需要が大きく減っているのか。それとも他にも理由があるのか。	九州地区は電力料金の上昇が他地区に比べて相対的に小さい中で、スクラップ価格の下落の影響から、需要家による値下げ要求が強まり販売店間の競争の中で値下げ要求に応じたことで下落となった。需要が大幅に減少するような状況が発生しているわけではない。
質問 6	ストレートアスファルト・改質アスファルトで「原材料(原油)調達コストの値下がり背景に、元売りが仕切り価格引き下げ、下落」とあるが、材料価格の変動が反映しやすい資材なのか。また、アスファルト価格の下落ほど原油価格は下がっていないが、ここまで大幅な値下げになった理由は他にあるのか。	ストレートアスファルト・改質アスファルトの価格は原油相場の影響を強く受ける。変動要因となる原油相場(ドバイ)の動きは、10月末90ドル前後から12月末77ドル前後へ下落。加えて円相場が10月末148円前後から12月末131円程度に上昇した。これらの影響が相まって国内のストレートアスファルト・改質アスファルトの価格が大幅下落となった。

質問 7	<p>異形棒鋼・ねじ鉄筋のコメントで「原発が稼働しており電力料金の上昇幅が比較的小さい九州地区は、受注競争により市況下落となった」とあるが、九州電力以外では関西電力でも稼働中の原発を持っている。また、火力発電で使用する海外からのエネルギー価格は、急速に進む円高により調達価格が下落しているのではないかと思われる。以上により、関西地区においても電力料金の値上げ圧力はあまり高くないと思われるが、同地区の電炉メーカーの先行きについて「強含みの様相」としている理由は何か。</p>	<p>電力料金の上昇率は、原発が稼働している西日本で低く、東日本は高い傾向にあるが全国的に上昇している。また、電力料金（特別高圧）の改定はエネルギー調達価格の変動からタイムラグがあり直近の円相場等の影響ですぐに変動するわけではない。関西地区の電炉メーカーは電力料金の上昇を理由に値上げを打ち出しており、先行き強含みとしている。</p>
質問 8	<p>愛知県大府市でレディーミクストコンクリートの価格が 2,000 円上伸している。11 月号の審査の際、レディーミクストコンクリートの豊田地区の価格上伸理由に「バイパス工事の需要がある」との説明があった。今回の大府市における 2,000 円の上伸もそれを受けたものか。</p>	<p>レディーミクストコンクリートの大府市は豊田地区におけるバイパス工場の影響は受けないエリアである。大府市の値上げは、セメントや骨材等の原材料の上昇を受けた協組の値上げによるものである。</p>
審議結果	<p>「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号の価格動向に問題はなかった。</p>	

以 上